

セッション番号：2F-04

セッションタイトル：虫の会-まじめ版-12 分子生物学と昆虫学の"この指とまれ"

12th Insect meeting "Unions of Molecular Biologists and Entomologist"

オーガナイザー：横井 翔(農研機構)、 仲里 猛留(製品評価技術基盤機構)

開催日時：12月4日(木) 19:15-20:30

会場：第04会場(3F「303」)

昆虫は地球上で最も多様な種である。そのため、昆虫特有、それぞれの昆虫種特有の興味深い現象が多数確認されている。このような昆虫の現象は長年研究されてきたが、分子生物学的手法やシーケンサーの発達によって、これらの現象について、遺伝子、分子レベルで解明することが可能になってきた。本シンポジウムでは、昆虫の面白い現象を研究している若手研究者に発表してもらい、分子生物学会員と一緒に議論することで、新しい研究展開ができることを期待したい。

スケジュール

19:15-19:20 仲里 猛留(製品評価技術基盤機構): -はじめに-

19:20-19:50 上原 拓也(農研機構): 雑食性カメムシの食の好みは変えられるか?: 植物食性に関わる遺伝子の探索

19:50-20:20 萩原 翠唯那(東京都立大): 昆虫の動力飛行と跳躍を支える生体力学的特徴: 弾性タンパク質レジリン(resilin)の機能解析

20:20-20:30 横井 翔(農研機構): -終わりに-